とくしま教員育成指標について

1 本県が目指す教員像

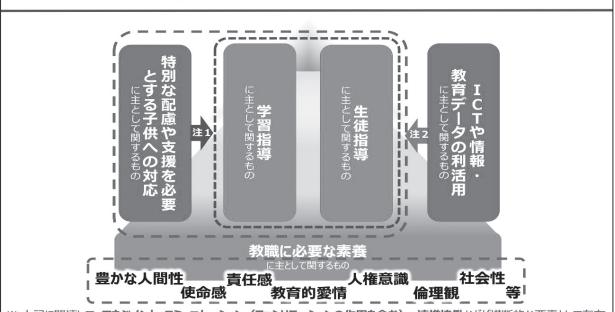
「徳島教育大綱」における基本方針「個性と国際性に富み、夢と志あふれる『人財』の育成」 を目指し、主体的に学び続け自己を高める教員

2 とくしま教員育成指標における資質・能力

変化の激しい時代において、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適な学び、協働的な学びにより、教職生涯を通じて学び続けるといった、新たな教師の学びを実現する観点から、改正教育公務員特例法(令和4年5月)を受け、より効果的な教師の資質向上を図るため、令和4年8月、「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」が改正された。

その中で、教師に共通的に求められる資質・能力を、①教職に必要な素養、②学習指導、③生徒指導、④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応、⑤ICTや情報・教育データの利活用の5つの柱で再整理し、教員研修計画の整備等、教員等としての資質の向上を推進する体制整備に取り組む重要性が示されたことを受け、令和5年2月に再整理を行った。

公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針 に基づく教師に共通的に求められる資質の具体的内容



- ※ 上記に関連して、マネジメント、コミュニケーション(ファシリテーションの作用を含む)、連携協働などが横断的な要素として存在
- - 注2)「ICTや情報・教育データの利活用」は、「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」をより効果的に 行うための手段としての位置付け

公立学校の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正(令和4年文部科学省告示第115号)」より

「①教職に必要な素養」に支えられた「②学習指導」「③生徒指導」に関わる資質を発揮する際に、「④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」と「⑤ I C T や情報・教育データの利活用」が大きな影響を与える。換言すれば、「④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」と「⑤ I C T や情報・教育データの利活用」に関わる知識やスキルを向上させることにより、「②学習指導」「③生徒指導」が児童生徒一人一人により応じたものとなる。

令和5年度改訂 〈第3ステージ〉 採用時に本県が求める力 〈第1ステージ〉 深化・発展期 資賞·能力 養成期 基盤形成期 熟達期) 教育的受情と執音をもって教育 ○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、 命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。 使命感と教職への論り たくましい結神力と柔軟性をもって 教育活動を推 活動に臨もうとしている 進している。 社会人としての常識やマナー、 道徳性(情報モラルを含む。) 身に付け、法令遵守の精神に 基づいた行動をしている。 教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守す とともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の 教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。 知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。 豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研 鑽に努めるとともに、範を示している。 学び続ける意欲をもち、他者の 意見を謙虚に受け止めている。 コミュニケーションスキルを身! 付け、他者と積極的に関わり、 助け合っている。 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。 C 社会性・ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間 関係を築いている。 児童一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さなし 集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。 組織の一員として、目標と自分 の役割を理解し、協働して責任 を果たそうとしている。 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いながら、日々の教育 活動に協働して取り組んでいる。 ○ 学校教育目標の達成に向け、「チーム ず 学校」としての組織力が発揮できるよう 率先して工夫改善に努め、学校全体の 教育計画の作成に参画している。 グループの強みと弱みを分析 したり、PDCAサイクルを活用 したりしながら、組織を活性化 させている。 グループリーダーとして、創意 エ夫や企画力を発揮し、他のク ループとも連携・調整をしなが ら、組織を活性化させている。 P 校 組 機マネジメント力 -○ 校務分掌等の業務を、周囲 の教職員と調整しながら遂行 している。 校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。 ○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画 的に職務遂行に努めている。 地域の教育資源(人材・施 設・伝統行事等)についての 情報を把握し、その活用を 図っている。 家庭や地域に働きかけ、教育 活動を充実させるためのネット ワークを形成している。 家庭や地域と連携する重要性 を理解し、ボランティア活動や 地域の行事等へ参加している。 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。 地域における学校の役割を認識し、家 庭や地域と協働する教育活動を推進し ている。 E 連接 · 協備力 互いの課題や学びの共有を 図るとともに、若手教員の範 となるよう努めている。 互いの課題や悩みを解決するため情報 交換を積極的に行うとともに、先輩教員 に相談したり助言を求めたりしている。 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計 画的・継続的に進め、支え合い、学び合 う環境づくりをしている。 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。 これまでの経験を生かし、地域と協働し 安全教育・防災教育・情報モラ 安全教育・防災教育・情報モラル教育 危機管理に対する意識を高 厄機管理に対する必能と同 め、危険を予測して行動する とともに、安心・安全に配慮し た環境づくりをしている。 これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。 食物アレルギー対応等に関する危機管 理の知識を身に付け、早期発見や想定 外の事態への対応に努め、緊急時に自 分の役割を果たしている。 ル教育・食物アレルギー対応 等に関する危機管理の重要性 を理解し、危険を察知したとき、 状況に応じた行動をしている。 F 会 維 等 理 力 学校教育目標を踏まえつつ、児童の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。 学校教育目標を踏まえ、児童 の実態や新たな教育課題に 対応するため、目的や意図を 明確にしたカリキュラムを提 案している。 地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。 学習指導要領の「目標」「内容 や系統等を理解している。 ・ (公司: 日間にはおいています。 年間の系統や幼・小・中・高の 接続を見通して、学校の特色を 生かした創意工夫のあるカリ キュラムを作成している。 A カリキュラム・ マネジメントカ 学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組 織的に展開している。 学力調査・学校評価等の結果に基づき、学年や担当教科等の中心となって、長期的・継続的な改善策を提案し実践している。 ○ 学力調査・学校評価等の結果を、日々の 授業改善に結び付けている。 本地口に本所印しいう。 これまでの実践や経験を基に、単元・題 材の開発や授業構想に関する専門性を 高め、ICT等の効果的な活用方法と学 習評価の研究に努め、改善につながる 助言をしている。 児童の心身の発達や学習過程に関して 理解するとともに、児童の実態に応じ、 育成を目指す資質・能力の定着に向け、 目標と評価を関係付けて、様々な教材 やICT等の効果的な活用や評価方法を 取り入れた授業を構想している。 ○ 児童の活動の姿や思考の流れ を想定し、教材やICT等の効果 的な活用場面等を考えながら、 学習指導案を作成している。 児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために 指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な 活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。 b B 接 ≢ 学習指 ○ 基本的な指導技術を身に付け、児童の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとして 育成を目指す資質・能力の定着に向け、 発問・指示・説明・板書・児童とのやり取 り・最新のICT等の指導技術を身に付け、活用している。 ○ 最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法、評価方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたっている。 ○ 幅広い情報を基に、自分の指導技術、 指導方法、評価方法を更新しつつ、新 い技術や方法を取り入れた範を積極的 に示したり、学校全体の授業力向上を 働きかけたりしている。 C#### 個別最適な学びと協働的な学びの一体 的な充実による質的な学習の深まりを 把握し、意図的・計画的な指導・支援を 学びの質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援を 児童の習得状況を目標に照らして評価 し、個別最適な学びと協働的な学びの一 体的な充実のための指導・支援をしてい I C T ○ 児童の習得状況に応じた指導 支援の方法を理解している。 特別な配慮・支援 している。 の利活用 学校全体の授業改善に取り組む環境で くりに努め、教員の個性を生かす助言を 自分の授業を振り返り改善する習慣や、 他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に付 いている。 ○ 授業を分析して改善する手立 てを理解し、実践しようとしてし 校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげてい D 授業省察力 改善力 している。 児童に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。 児童理解の意義や、児童の心 身の発達の過程・特徴につい て理解している。 児童を深く理解し、細やかな配慮をする とともに、全ての教職員で児童の理解 や指導・支援の方針について共通理解 を図る環境づくりをしている。 児童の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、 長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図 的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしてい る。 A 児童生徒理解: 学校全体の集団づくりの取組を視野に 入れ、活性化させるための具体的方策 を提案している。)担任の職務内容や集団づくり の意義を理解し、学級経営の 基本的な指導方法を身に付け ている。 学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動 等の集団の経営方針を基に、それぞれ 一貫性のある指導・支援をしている。 異年齢集団等様々な集団活動について、よりよい集団に高め、集団相互の関わりを活性化させるとともに、若手教員に助言をしている。 任 B集団づくりカ 学校生活の中で生じる様々な 課題の発見と対応の方法につ いて理解し、積極的に課題解 決に取り組もうとしている。 課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について、若手教員に助言をしている。 学校が直面する様々な課題を把握し、 組織的できめ細やかな指導・支援が行 われるよう働きかけている。 徒 指 ○ キャリア教育・消費者教育・主 権者教育の重要性を理解し、 基本的な指導方法を身に付け ている。 キャリア教育・消費者教育・主権者教育 の視点を踏まえた学習の場を設定し、児 童の自己有用懸を高めつつ、自立した 生活、社会の形成における自己の役割 について理解できる素地を育てる指導を 発達段階に応じて、グローカルな視野と低・中・高学年のキャリア 教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組 機したり、他校種や家庭・地域、企業、関係機関等との連携を図 たりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。 学校の教育活動全体を通じて、グロー カルな視野とキャリア教育・消費者教 育・主権者教育の視点を踏まえた指導 が充実するよう、助言をしている。 D 未来ピジョン實産 について) 児童の教育的ニーズに対応するため 専門性を高め、他の教職員とともに本 人・保護者のニーズを踏まえた個別の教育支援計画や個別の指導計画を立業し て、個に応じた指導・支援に取り組んで いる。 児童の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。 特別支援教育の理念や動向、 特別支援教育に関連する基礎 的な用語や、個に応じた指導・ 支援の必要性を理解している。 個々の児童に対する合理的配慮の実 施について助言したり、障がい者理解 の促進について、家庭や地域への発信 に努めたりしている。 A個に応じた 指導・支援力 インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で児童を支援する体制の整備を推進している。) 関係する校務分掌(特別支援 教育コーディネーター等)や、関係機関(医療・福祉・労働)のそれぞれの役割を理解している。 保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しなが ら、指導・支援に取り組んだり、児童同士の相互理解が深まるような交流及 び共同学習に取り組んだりしている。 ○ 校内委員会等で情報共有を 行ったり、外部の専門家や関係 機関と連携したりして、ケース 会議等を実施している。 B チームによる実験 児童一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法、称賛、承認の方法等について、若手教員に助言している。 アセスメントに基づき指導目標を明確化し、担任・担当間で積極的 に授業改善を行うとともに、児童の得意な面を認めることにより、 学習意欲の向上につなげる支援をしている。 学びに困難さを抱える児童 ○ 他の教職員と協働し、児童の学習上の つまずきに対する配慮や支援、教材づく りに積極的に取り組み、意欲的・主体的 に学ぶ授業づくりを行っている。 「わかった」 「できた」を育む 学習支援力 の配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。 に子が探来 スツを打りたいる。 児童が見通しをもって学校生活を過ごせるように、教室環境の整備や学級内ルールの明確化を図るとともに、コミュニケーショソスキル向上等に関する指導を行っている。 特別な配慮や支援を必要とする児童を含む全ての児童の望ましい行動を育てるために、ボジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。 将来の社会参加と自立の視点 個別支援や、ポジティブ行動支援の実 個別又族(グス・ボン) インリ 剣文族(グス・ 競について、全教職員で指導の効果を 確認し、児童の成長を共に喜び合う機 会を計画的に設定している。 に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。 「わかった」 D 「できた」を育む 生活支援力 これまでの実践や経験をもとに、単元・ 題材の開発や授業構想に関する専門 性を高めるとともに、ICTの効果的な活 用方法の研究に努め、授業改善につな がる助言をしている。 児童の活動の姿や思考の流れ を踏まえ、ICTの活用場面等を 想定しながら、学習指導案を作 成している。 児童の実態に応じ、育成を目指す資質・ 能力の定着に向け、目標と評価を関係 付けて、ICTを積極的に取り入れた授業 を構想している。 児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じて、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。 最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践すると ともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充 的・発展的な指導・支援をしている。 個別最適な学びと協働的な学びの一体 育成を目指す資質・能力の定着に向け チョカ学に必要なアンリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。 RIMCは日相9 見見・能力の足者に回げ、 積極的にCTを活用した指導を実践する とともに、蓄積した教育データを学習評価につなげている。 個別取過な子びと励働的な子びの一下 的な充実に向け、必要とされる教育 データの活用とICTスキルの向上につ いての研究に努め、助言をしている。 ○ 学校業務に必要なアプリケー ション操作や情報モラル・セ キュリテイに関する知識や技能 を身に付けている。 所属する組織のセキュリティポリシーを 理解し、学級事務、校務において、学校 業務支援システムやその他のクラウド サービスを利活用している。 セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他の クラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行し ている。 セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウド サービスの効率的な利活用について教職員に提案している。 ICTを効率的な 卑務の進行に 活用する力

とくしま教員育成指標

	_	キャリアステージ	採用時に本県が求める力	〈第1ステージ〉	〈第2ス	ペテージ 〉	令和5年度改 〈第3ステージ〉
資質・能力			養成期 ○ 教育的愛情と熱意をもって教育	基盤形成期 ○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示され	伸長・充実期 ている「人財」の育成を目指し、使	深化・発展期 ○ 使命感と教職への誇り、たくまし	熟達期 い精神力と柔軟性をもって、教育活動を拍
			活動に臨もうとしている。	命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く者	教育活動に取り組んでいる。	している。	
	A	使命感・倫理領	○ 社会人としての常識やマナー、 道徳性(情報モラルを含む。)を 身に付け、法令遵守の精神に 基づいた行動をしている。	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令やもとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、		○ 家庭や地域の信頼に応え、法等 職員に働きかけ、組織の志気を	:やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の 高めている。
	В	競 見 · 学び続けるカ	○ 学び続ける意欲をもち、他者の 意見を謙虚に受け止めている。	知見を広げ、物事を的確に判断するとともる。	もに、主体的に研修に取り組んでい	○ 豊かな経験に裏打ちされた識見 に努めるとともに、範を示してい。	
			□ コミュニケーションスキルを身に 付け、他者と積極的に関わり、 助け合っている。	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分 合っている。	うの考えを適切に伝えながら、助け	○ 組織のコミュニケーションを活性 なる教職員とのパイプ役となり、	化するとともに、管理職や学年・職種等の 支え合う環境づくりをしている。
	C	コミュニケーションカ	○ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○ 生徒一人一人の抱えている悩みや願いる 集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、		○ 学校や地域の人権に関する課題 組み、人権尊重の精神が高まる	値の解決に向けて、関係機関等とともに取 よう家庭や地域に広めている。
	D	学 校 観 機	○ 組織の一員として、目標と自分 の役割を理解し、協働して責任 を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いながら、日々の教育活 動に協働して取り組んでいる。	○ グループの強みと弱みを分析 したり、PDCAサイクルを活用 したりしながら、組織を活性化 させている。	○ グルーブリーダーとして、創意 工夫や企画力を発揮し、他のグ ループとも連携・調整をしなが ら、組織を活性化させている。	○ 学校教育目標の達成に向け、「チー、学校」としての組織力が発揮できるよ 率先して工夫改善に努め、学校全体 教育計画の作成に参画している。
		マネシメントカ		○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画 的に職務遂行に努めている。	○ 校務分掌等の業務を、周囲の 教職員と調整しながら遂行している。	○ 校務分掌等の業務の工夫改善 を図るとともに、若手教員に助 言をしている。	○ 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を 進している。
	-	連携・協働力	○ 家庭や地域と連携する重要性 を理解し、ボランティア活動や 地域の行事等へ参加している。	○ 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○ 地域の教育資源(人材・施設・ 伝統行事等)についての情報 を把握し、その活用を図って いる。	○ 家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○ 地域における学校の役割を認識し、 庭や地域と協働する教育活動を推え ている。
				○ 互いの課題や悩みを解決するため情報 交換を積極的に行うとともに、先輩教員 に相談したり助言を求めたりしている。	○ 互いの課題や学びの共有を 図るとともに、若手教員の範 となるよう努めている。	○ 校内研修を充実させるととも に、若手教員に助言をしてい る。	○ 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを 画的・継続的に進め、支え合い、学で う環境づくりをしている。
	F	危機管理力	理解し、危険を祭知したとき、状況に応じた行動をしている。	○ 安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	め、危険を予測して行動する とともに、安心・安全に配慮し た環境づくりをしている。	○ 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。	○ これまでの経験を生かし、地域と協 た創意工夫のある安全教育・防災勢 情報モラル教育・食物アレルギー対 等に関する取組を発信したり、危機 体制づくりに参画したりしている。
	A	カリキュラム・ マネジメントカ	○ 学習指導要領の「目標」「内容」 や系統等を理解している。	○ 学校教育目標を踏まえつつ、生徒の実態 に応じ、作成の意図を考えながら、学校 のカリキュラムを活用している。	○ 学校教育目標を踏まえ、生徒 の実態や新たな教育課題に 対応するため、目的や意図を 明確にしたカリキュラムを提 楽している。	○ 学校教育目標を踏まえ、各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○ 地域の実態や学校教育目標・学校 育活動全体を踏まえながら、カリキ・ ムを見直し、組織的に改善したり調 たりしている。
				○ 学力調査・学校評価等の結果を、日々の 授業改善に結び付けている。	○ 学力調査・学校評価等の結果 心となって、長期的・継続的なる		○ 学力調査・学校評価等の結果に基 き、学校の課題を把握し、改善策を 織的に展開している。
授業力・学習	E B	授業構想力	○ 生徒の活動の姿や思考の流れ を想定し、教材やICT等の効果 的な活用場面等を考えながら、 学習指導案を作成している。	○ 生徒の心身の発達や学習過程に関して 理解するとともに、生徒の実態に応じ、育 成を目指す資質・能力の定着に向け、目 標と評価を関係付けて、様々な教材やIC 下等の効果的な活用や評価方法を取り入 れた授業を構想している。	指導と評価の一体化を図り、教 用に取り組み、創意工夫のある	目指す資質・能力の定着のために、 放材等の開発やICT等の効果的な活 る授業を構想している。	○ これまでの実践や経験を基に、単元 村の開発や授業構想に関する専門 高め、ICT等の効果的な活用方法と 習評価の研究に努め、改善につなが 助言をしている。
指	ļ	:授拿实践力	○ 基本的な指導技術を身に付け、 生徒の学習の様子を把握しな がら授業を実践しようとし てい る。	〇 育成を目指す資質・能力の定着に向け、 発問・指示・説明・板書・生徒とのやり取 り・最新のICT等の指導技術を身に付 け、活用している。	○ 最新の知見に基づき、新たによ 価方法を積極的に活用し、授業 の助言・育成にあたっている。	身に付けた指導技術、指導方法、評 業を展開するとともに、若手教員へ	○ 幅広い情報を基に自分の指導技術 導方法、評価方法を更新しつつ、新 技術や方法を取り入れた範を積極 示したり、学校全体の授業力向上を かけたりしている。
日の配			○ 生徒の習得状況に応じた指導・ 支援の方法を理解している。	○ 生徒の習得状況を目標に照らして評価 し、個別最適な学びと協働的な学びの一 体的な充実のための指導・支援をしてい る。	て一人一人の習得状況を的確	目を向け、ICT等を効果的に活用し に把握し、個別最適な学びと協働的 の補充的・発展的な指導・支援をし	○ 個別最適な学びと協働的な学びの 的な充実による質的な学習の深まり 把握し、意図的・計画的な指導・支打 している。
利慮 活・ 用支	D	授業省察力· 改善力		○ 自分の授業を振り返り改善する習慣や、 他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	を受けて、自分の授業を客観的 る。	記授業を積極的に行うとともに、助言 内に評価し、授業改善につなげてい	○ 学校全体の授業改善に取り組む環 くりに努め、教員の個性を生かす助 している。
摄	A	児童生徒理解・ 指 幕 力	○ 生徒理解の意義や、生徒の心 身の発達の過程・特徴について 理解している。	○ 生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	長期的な視野をもって社会的意	面的に理解して信頼関係を構築し、 資質や行動力を獲得できるよう意図 とともに、若手教員に助言をしてい	○ 生徒を深く理解し、細やかな配慮を とともに、全ての教職員で生徒の理 指導・支援の方針について共通理制 図る環境づくりをしている。
担任力	ĒВ	集団 づくりカ	○ 担任の職務内容や集団づくりの 意義を理解し、学級経営の基本 的な指導方法を身に付けてい る。	○ 学級集団をはじめ、生徒会や部活動等 の集団の経営方針を基に、それぞれー 貫性のある指導・支援をしている。		かについて、よりよい集団に高め、集 るとともに、若手教員に助言をしてい	○ 学校全体の集団づくりの取組を視野 入れ、活性化させるための具体的で を提案している。
生徒指導	E c	課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な 課題の発見と対応の方法につ いて理解し、積極的に課題解決 に取り組もうとしている。	○ 様々な課題に気付き、生徒、保護者、他 の教職員と相談しながら、的確に課題解 決を図っている。		!に努め、必要に応じて専門家と連 の様々な方策について若手教員に	○ 学校が直面する様々な課題を把握 組織的できめ細やかな指導・支援が われるよう働きかけている。
) 未来ピシ゚ョン育成力	いる。	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育 の視点を踏まえた学習の場を設定し、 人一人の進路選択、自立した生活、社会 の形成における自己の役割について理 解できるよう指導し、自覚を促している。	域、企業、関係機関等との連携 通じて指導・支援をしている。	え、学校種をこえた連携や、家庭、地 専を図りながら、あらゆる教育活動を	主権者教育の視点を踏まえた指導 実するよう、助言をしている。
	A	個に応じた治事・支援力	○ 特別支援教育の理念や動向、 特別支援教育に関連する基礎 的な用語や、個に応じた指導・ 支援の必要性を理解している。	○ 生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人、保護者のニーズを踏まえた個別の教育支援計画や個別の指導計画を立案して、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	慮の視点から校内での連絡・記 通じて個に応じた支援を行って	るための専門性を高め、合理的配 関整を行うなどして、学校生活全体を いる。	○ 個々の生徒に対する合理的配慮の について助言したり、障がい者理解 進について、家庭や地域への発信 めたりしている。
	В	チームによる実践	○ 関係する校務分章(特別支援 教育コーディネーター等)や、関 係機関(医療・福祉・労働)のそ れぞれの役割を理解している。	○ 保護者や特別支援教育コーディネーター ら、指導・支援に取り組んだり、生徒同士 び共同学習に取り組んだりしている。		○ 校内委員会等で情報共有を 行ったり、外部の専門家や関係 機関と連携したりして、ケース会 議等を実施している。	○ インクルーシブ教育システム構築にけ、関係機関等と連携しながら、学体で生徒を支援する体制の整備をしている。
	c	「わかった」 「できた」を育む 学習支援力	配慮を理解し、基本的な指導・ 支援の方法を理解している。	○ 他の教職員と協働し、生徒の学習上のつまずきに対する配慮や支援、教材づくりに積極的に取り組み、意欲的・主体的に学ぶ授業づくりを行っている。		徒の得意な面を認めることにより、学	
	D	「わかった」 「できた」を育む 生活支援力	照にあるエカエの四種で、同	○ 生徒が見通しをもって学校生活を過ごせるように、教室環境の整体学級内ルルの明確化を図るとともに、コミュニケーションスキル向上等に関する指導を行っている。		ブ行動支援の手法を用いて、課題の	
		ICTを学習指導に	○ 生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を 想定しながら、学習指導案を作成している。 ○ 学習指導に必要なアプリケー	○ 生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・ 能力の定着に向け、目標と評価を関係付 けて、ICTを積極的に取り入れた授業を 構想している。	夫のある授業を実践している。	適切かつ効果的に活用した創意工	○ これまでの実践や経験をもとに、単 題材の開発・授業構想に関する事 を高めるとともに、ICTの効果的な 方法の研究に努め、授業改善につ る助言をしている。
		利治用する力	ティに関する知識や技能を身に付けている。	○ 育成を目指す資質・能力の定着に向け、 積極的にICTを活用した指導を実践する とともに、蓄積した教育データを学習評価 につなげている。	もに、学びの質や長期的な変変 別最適な学びと恊働的な学び 展的な指導・支援をしている。	容に関する教育データを分析し、個 の一体的な充実のための補充的・発	研究に努め、助言をしている。
	В	ICTを効率的な 業務の遂行に 活用する力	リティに関する知識や技能を身	○ 所属する組織のセキュリティポリシーを 理解し、学級事務、校務において、学校 業務支援システムやその他のクラウド サービスを利活用している。	○ セキュリティポリシーを遵守し、 クラウドサービスの多くの機能 いる。	学校業務支援システムやその他の を活用して効率的に業務を遂行して	○ セキュリティポリシーを遵守し、学校 務支援システムやその他のクラウト ビスの効率的な利活用について教 に提案している。
		店用する刀	1-1917 (100.	サービスを利活用している。			に従来している。

令和5年度改訂

採用時に本果が求める力 〈第1ステージ〉 深化・発展期 資質·能力 基盤形成期 伸長·充実期 熟達期 ○ 教育的愛情と熱意をもって教育 活動に臨もうとしている。 使命感と教験への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。 「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、 命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。 社会人としての常識やマナー、 道徳性(情報モラルを含む。)を 身に付け、法令遵守の精神に 基づいた行動をしている。 教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守す とともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の 教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。 豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽 に努めるとともに、範を示している。 学び続ける意欲をもち、他者の 意見を謙虚に受け止めている。) 知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んで 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助 け合っている。 C 社会性・ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間 関係を築いている。 組織の一員として、目標と自分 の役割を理解し、協働して責任 を果たそうとしている。 学校教育目標やスクール・ミッションの 達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改 着に努め、学校全体の教育計画の作成 に参画している。 スクール・ミッションやスクール・ポリシー を理解し、業務についての報告・連絡・ 相談を適切に行いながら、日々の教育 活動に協働して取り組んでいる。 グループリーダーとして、創意 工夫や企画力を発揮し、他の グループとも連携・調整をしな グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを注 用したりしながら、組織を活性化させている。 グルーフとも連携・調整をしる がら、組織を活性化させてい P 枝 組 機マネジメントカ 校務分掌等の業務の工夫改善 を図るとともに、若手教員に助 言をしている。 ○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画 的に職務遂行に努めている。 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。 ○ 校務分掌等の業務を、周囲 の教職員と調整しながら遂行 している。 家庭や地域と連携する重要性 家庭や地域との連携・協働の意義を踏 地域の教育資源(人材・施 家庭や地域に働きかけ、教育) 地域における学校の役割を認識し、家 を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。 まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。 設・伝統行事等)についての 情報を把握し、その活用を 活動を充実させるためのネットワークを形成している。 庭や地域と協働する教育活動を推進し ている。 校内研修を充実させるととも に、若手教員に助言をしてい る。 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計 画的・継続的に進め、支え合い、学び合 う環境づくりをしている。 互いの課題や学びの共有を 互いの課題や悩みを解決するため情報 図るとともに、若手教員の範 となるよう努めている。 交換を積極的に行うとともに、先輩教員 に相談したり助言を求めたりしている。 フェルス・クタビしている。 これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応 等に関する取組を発信したり、危機管理 体制づくりに参画したりしている。 危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。 安全教育・防災教育・情報モラ 安全教育・防災教育・情報モラル教育・ 緊急時のシミュレーションを行 い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。 を物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。 ル教育・食物アレルギー対応等 に関する危機管理の重要性を 理解し、危険を察知したとき、状 況に応じた行動をしている。 F & 棒 管 理 力 学校教育目標を踏まえ、生徒の実態や新たな教育課題に 対応するため、目的や意図を 明確にしたカリキュラムを提 案している。 学校教育目標を踏まえつつ、生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。 地域の実態や学校教育目標・学校の教 をはめた。 育活動全体を踏まえながら、カリキュラ ムを見直し、組織的に改善したり調整し たりしている。 A カリキュラム・ マネジメントカ 学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。 学力調査・学校評価等の結果に 心となって、長期的・継続的な改 基づき、学年や担当教科等の中 善策を提案し実践している。) 学力調査・学校評価等の結果を、日々の授業改善に結び付けている。 ○ 生徒の活動の姿や思考の流れ を想定し、教材やICT等の効果 的な活用場面等を分析しなが ら、学習指導案を作成してい る。 生徒の心身の発達や学習過程に関して 理解するとともに、生徒の実態に応じ、 育成を目指す資質・能力の定着に向 け、目標と評価を関係付けて、様々な教 材やICT等の効果的な活用や評価方法 を取り入れた授業を構想している。 これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を 高め、ICT等の効果的な活用方法と学習 評価の研究に努め、改善につながる助 言をしている。 ○ 生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために 指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な 活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。 授業力 B授業 学習 幅広い情報を基に自分の指導技術、指導方法や評価方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、学校全体の授業力向上を働きかけたりしている。 育成を目指す資質・能力の定着に向 最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法、評価方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたっている。 ○ 基本的な指導技術を身に付け 生徒の学習の様子を把握しな がら授業を実践しようとしてい 日成と日間・日本・説明・板書・生徒とのや り取り・最新のICT等の指導技術を身に 付け、活用している。 C # 2 2 18 1 ○ 学びの質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用 て一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働 的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援 をしている。 個別最適な学びと協働的な学びの一体 的な充実による質的な学習の深まりを ○ 生徒の習得状況に応じた指導 支援の方法を理解している。 生徒の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実のための指導・支援をしている。 把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。 ○ 授業を分析して改善する手立 を理解し、実践しようとしてい る。 学校全体の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言を している。 自分の授業を振り返り改善する習慣や 他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に作 いている。 ○ 研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自 分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。 C 特別な配慮・支援 D提業省察力 ○ 生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、 長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図 的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。 ○ 生徒理解の意義を理解し、生徒 指導や教育相談等の基本的な 方法を身に付けている。 り生徒を深く理解し、細やかな配慮をする とともに、全ての教職員で生徒の理解や 指導・支援の方針について共通理解を 図る環境づくりをしている。 生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を 利活用 A 児童生徒理解・ 物 単 カ 構築するとともに、社会的資質や行動力 を高めるよう指導・支援をしている。 ○ 様々な集団活動について、よりよい集団に高め、集団相互の関わりを活性化させるとともに、若手教員に助言をしている。 担任の職務内容や集団づくりの ホームルームをはじめ、生徒会や部活 学校全体の集団づくりの取組を視野に 意義を理解し、ホームルーム経 営の基本的な指導方法を身に 付けている。 相 動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。 入れ、活性化させるための具体的方策 を提案している。 B集団づくりカ 学校生活の中で生じる様々な 課題の発見と対応の方法につ いて理解し、積極的に課題解決 に取り組もうとしている。 学校が直面する様々な課題を把握し、 組織的できめ細やかな指導・支援が行 われるよう働きかけている。 C課題保持 徒指 キャリア教育・消費者教育・主 権者教育の重要性を理解し、基 本的な指導方法を身に付けて いる。 キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、生徒が勤労観・職業観を確立するとともに、自立した生活、社会における自己の役割についての認識を深め、社会を形成する一員として主体的に行動できるようを選げている。 グローカルな視野とキャリア教育・消費 者教育・主権者教育の視点に基づいた 指導が充実するよう助言するとともに、 家庭、地域、企業、関係機関等と連携し た指導・支援を推進している。 発達段階に応じて、グローカルな視野とキャリア教育・消費者教育・注権者教育の視点を踏まえ、社会的な自立に向けて、家庭 地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活 動を通じて指導・支援をしている。 D 未来ピジョン育成カ う指導している。 生徒の教育的ニーズに対応するための 専門性を高め、他の教職員とともに本 人・保護者のニーズを踏まえた個別の 教育支援計画や個別の指導計画を立案 して、個に応じた指導・支援に取り組ん でいる。 生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。 個々の生徒に対する合理的配慮の実施 特別支援教育に関連する基礎 的な用語や、個に応じた指導・ 支援の必要性を理解している。 個々の主張に対する古生的記憶の美能 について助言したり、障がい者理解の仮 進について、家庭や地域への発信に努 めたりしている。 A 個に応じた お菓・支援力 インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で生徒を支援する体制の整備を推進している。 、他の教職員と連携・協働しなが 行ったり、外部の専門家や関係機関と連携したりして、ケース 会議等を実施している。 育コーディネーター等)や、関係 機関(医療・福祉・労働)のそれ ぞれの役割を理解している。 B チームによる実践 学びに困難さを抱える生徒への配慮を理解し、基本的な指導・ 支援の方法を理解している。 ○ 個々の生徒への合理的配慮に基づき、板書やブリントの工夫、作業的な内容の取り入れ、学習環境の配慮等を実施し、成就感や達成感につなげる支援をしている。 個々の生徒に対する学習指導上の合理 的配慮の実施について、若手教員に助 言している。 他の教職員と協働し、生徒の学習上の 他の教職員と励動し、主体の子自工の つまずきに対する配慮や支援、教材づく りに積極的に取り組み、意欲的・主体的 に学ぶ授業づくりを行っている。 に学ぶ授業づくりを行っている。 生徒が安心して生活できるように、教室 環境の整備やホームルーム内ルールの 明確化を図るとともに、コミューケーショ ンスキルの向上や感情のコントロール等 に関する指導を行っている。 ○ 将来の社会参加と自立の視点 に基づき、発達障がい等の特性 による生活上の困難や、問題行 動への基本的な支援方法を理 特別な配慮や支援を必要とする生徒の二次的な問題は、周りの 環境に起因していることを理解し、生徒の自尊感情に配慮しなが ら、早期に適切な対応を行っている。 ○ 卒業後の自立と社会参加を目指した指導・支援の充実を図るため、社会生活や就労への適応力向上のための取組を組織的に展開している。 F 多様性に基づく 年 活 支 得 カ 解している。 生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。 生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じて、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。 生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・ 能力の定着に向け、目標と評価を関係 付けて、ICTを積極的に取り入れた授業 を構想している。 これまでの実践や経験をもとに、単元・ 題材の開発や授業構想に関する専門性 を高めるとともに、ICTの効果的な活用 方法の研究に努め、授業改善につなが A **利 招 用 す る カ**② 学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。 方法の研究に努め、授業収香につなかる助言をしている。 毎別表達な学びと協働的な学びの一体 的な充実に向け、必要とされる教育デー タの活用とにてスキルの向上についての 研究に努め、助言をしている。 育成を目指す資質・能力の定着に向け、積極的にICTを活用した指導を実践するとともに、蓄積した教育データを学習評価等につなげている。 最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践すると ともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充 的・発展的な指導・支援をしている。 セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他 のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行 している。 学校業務に必要なアプリケ 所属する組織のセキュリティポリシーを セキュリティポリシーを遵守し、学校業 ICTを効率的な 業務の遂行に 活用する力 ション操作や情報モラル・セキ: リティに関する知識や技能を身 に付けている。 が高くる 理解し、学級事務、校務において、学校 業務支援ンステムやその他のクラウド サービスを利活用している。 でするリカイボックンを使うし、手校業 務支援システムやその他のクラウド サービスの効率的な利活用について教 職員に提案している。

		キャリアステーシ	· 採用時に本県が求める力	〈第1ステージ〉	〈第23	·テージ>	令和5年度改訂 〈第3ステージ〉
資質·能力			養成期	基盤形成期	伸長·充実期	深化·発展期	熟建期
			○ 教育的愛情と熱意をもって教育 活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示され 使命感と情熱をもって、たくましく、粘り引		○ 使命感と教職への誇り、たくま 進している。	しい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推
		A 使命感・倫理制	○ 社会人としての常識やマナー、 道徳性(情報モラルを含む。)を 身に付け、法令遵守の精神に 基づいた行動をしている。	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令やるとともに、誠実かつ公正に職責を遂行る。		○ 家庭や地域の信頼に応え、法 の教職員に働きかけ、組織の	令やセキュリティーポリシー等の遵守を周囲 志気を高めている。
		B 単 現 学び続ける:	○ 学び続ける意欲をもち、他者の 意見を謙虚に受け止めている。	○ 知見を広げ、物事を的確に判断するとといる。	さに、主体的に研修に取り組んで	○ 豊かな経験に裏打ちされた識 鑽に努めるとともに、範を示し	見を有し、課題意識と探究心をもって自己研 ている。
		C社会性	○ コミュニケーションスキルを身に 付け、他者と積極的に関わり、 助け合っている。	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自 け合っている。	分の考えを適切に伝えながら、助		生化するとともに、管理職や学年・職種等の はり、支え合う環境づくりをしている。
		こうきュニケージョンク		○ 幼児児童生徒一人一人の抱えている悩 を許さない集団をつくるとともに、教育的 ている。	(みや願いを把握し、差別やいじめ)愛情をもち、人権を尊重し、行動し	組み、人権尊重の精神が高ま	題の解決に向けて、関係機関等とともに取るよう家庭や地域に広めている。
		P 校 組 和 マネジメントフ	○ 組織の一員として、目標と自分 の役割を理解し、協働して責任 を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いながら、日々の教育 活動に協働して取り組んでいる。	○ グルーブの強みと弱みを分 析したり、PDCAサイクルを活 用したりしながら、組織を活 性化させている。	○ グルーブリーダーとして、創意 工夫や企画力を発揮し、他の グループとも連携・調整をしな がら、組織を活性化させてい る。	○ 学校教育目標の達成に向け、「チーム 学校」としての組織力が発揮できるよう 率先して工夫改善に努め、学校全体の 教育計画の作成に参画している。
				○ 校務分掌等の業務内容を理解し計画的 に職務遂行に努めている。	の教職員と調整しながら遂行 している。	○ 校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○ 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
		E連携・協働:	域の行事等へ参加している。	○ 互いの課題や悩みを解決するため情報 交換を積極的に行うとともに、先輩教員 に相談したり助言を求めたりしている。	図るとともに、若手教員の範 となるよう努めている。	○ 校内研修を充実させるととも に、若手教員に助言をしてい る。	○ 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計画的・継続的に進め、支え合い、学び行う環境づくりをしている。
		F 危機管理:	○ 安全教育・防災教育・情報モラ	○ 安全教育・防災教育・情報モラル教育・ 食物アレルギー対応等に関する危機管 理の知識を身に付け、早期発見や想定 外の事態への対応に努め、緊急時に自 分の役割を果たしている。	とともに、安心・安全に配慮し	○ 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。	○ これまでの経験を生かし、地域と協働 た創意工夫のある安全教育・防災教育 情報モラル教育・食物アレルギー対応 等に関する取組を発信したり、危機管: 体制づくりに参画したりしている。
		A カリキュラム マネジメント:		○ 学校教育目標を踏まえつつ、幼児児童 生徒の実態に応じ、作成の意図を考え ながら、学校のカリキュラムを活用して いる。	○ 学校教育目標を踏まえ、幼児児童生徒の実態や新たな 教育課題に対応するため、 目的や意図を明確にしたカリ キュラムを提案している。	○ 学校教育目標を踏まえ、各学 年間の系統や幼・小・中・高の 接続を見通して、学校の特色 を生かした創意工夫のあるカ リキュラムを作成している。	○ 地域の実態や学校教育目標・学校の 育活動全体を踏まえながら、カリキュラ ムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。
	· 学	B授業構想:	段階に適した授業イメージをも ち、個や場面に応じた教材やIC	○ アセスメントや客観的な根拠に基づいた 幼児児童生徒の個別の指導計画や名 間指導計画に沿って、ICT等の効果的 な活用や評価方法を取り入れた日々の 保育・授業(以下、授業と表記。)を構想 している。	E を図るために、指導と評価の- T等の効果的な活用に取り組 ている。	5、育成を目指す資質・能力の定着 一体化を図り、教材等の開発やIC み、創意工夫のある授業を構想し	○ これまでの実践や経験を基に、単元・崇 材の開発や授業構起に関する専門性 高め、教材やICT等の効果的な活用方 法と学習評価の研究に努め、改善につ ながる助言をしている。
1	習指導	C授業実践:	としている。	○ 各授業において目標設定や指導内容 方法を考え、個々の幼児児童生徒の身態に即した教材・教具の活用による適切 な指導・支援をしている。	人の習得状況を把握するとと 評価方法を積極的に取り入れ 支援をしている。	:目を向け、幼児児童生徒一人一もに、新しい指導技術・指導方法・ し、適切に補充的・発展的な指導・	○ 幅広い情報を基に自分の指導技術、 導方法、評価方法を更新しつ、新し 技術や方法を取り入れた範を積極的 示したり、学校全体の授業力向上を優 かけたりしている。
I 特 C 別 支 塚	ı	投票省察力改善	を理解し、実践しようとしてい	○ 授業の目標に沿った具体的な学習成身の記録や自己評価を行い、授業改善を行っている。	がら授業改善を行うとともに、	教員間で指導の効果を確認しな 幼児児童生徒の得意な面を認め につなげる支援を行っている。	○ 様々な障がいのある幼児児童生徒の 業について、学校全体の授業改善に り組む環境づくりに努め、教員の個性 生かす助言をしている。
の利活用		A 切児児童生も理解・指導さ	○ 幼児児童生徒理解の意義や心 身の発達の過程・特徴について 理解している。 ○ 特別支援教育の理念、動向、関 連する基礎的な用語を理解して	○ 幼児児童生徒に向き合い、一人一人の 人格を尊重し、共感的理解に努めて信 頼関係を構築するとともに、社会的資質 や行動力を高めるよう指導・支援をして いる。	係を構築し、長期的な視野を できるよう意図的・計画的に指	等をより多面的に理解して信頼関 もって社会的資質や行動力を獲得 も導・支援をするとともに、若手教員	○ 幼児児童生徒を深く理解し、細やかな 慮をするとともに、全ての教職員の幼別 児童生徒の理解や指導・支援の方針 ついて共通理解を図る環境づくりをし いる。
	-	B集団 づくりき	いる。 担任の職務内容や集団づくりの 意義を理解し、学級経営の基本 的な指導方法を身に付けてい る。	○ 一斉授業において、個別目標に対応 た題材を設定したり、役割をもたせたり して、集団づくりの工夫を行っている。	もの等の集団構成を行い、幼 ンを活発にし、自発的なコミュ	で行うもの、他の学部と合同で行う 児児童生徒同士のコミュニケーショ ニケーションが増えるような集団づ に、若手教員に助言をしている。	○ 学校全体の集団づくりの取組を視野に 入れ、活性化させるための具体的方別 を提案している。
1 1		C課題解決:	○ 学校生活の中で生じる様々な 課題の発見と対応の方法につ いて理解し、積極的に課題解決 に取り組もうとしている。	○ 他の教職員や専門家のアドバイスを受けながら、特別支援教育の最新の知見に基づいた指導方法や指導技術を身に付けている。	支援の手法を用いて、課題の	を育てるために、ポジティブ行動 解決や問題の予防に取り組んでい	○ 学校が直面する様々な課題を把握し その解決のために、個別的な支援や ポジティブ行動支援の実践等、組織 できめ細やかな指導・支援を学校全 で取り組むように推進している。
i i	生徒指導	D 未来ピジョン育成:	に基づき、キャリア教育・消費者 教育・主権者教育の重要性を	○ 個別の教育支援計画や個別の指導計画にキャリア教育・消費者教育・技権者教育の視点からの目標を設定し、一人一人の社会的・職業的自立の目標達別に向け、日々の指導・支援をしている。	育・主権者教育の視点を踏ま 地域、就労支援機関、企業、社	え、学校種をこえた連携や、家庭、 福祉施設、関係機関等との連携を ・職業的自立やQOLの向上を目指	ルな視野とキャリア教育・消費者教育 主権者教育の視点を踏まえた指導や
		E 目標の明確化 実態把握:	要性を認識し、指導目標を明確	○ 個々に応じたアセスメントにより、幼児児童生徒一人一人の障がい特性を知り、 特に配慮を必要とする様々な状態を理解している。	析等の客観的な根拠に基づし	き適性検査結果の活用や、課題分 いた実態把握に取り組み、指導目	○ 障がい特性理解を深めるための効果な研修の方策を理解し、教職員に研 を促したり、助言をしたりしている。
		テームによる	○ 学校生活の中で生じる様々な 課題の発見と対応の方法につ いて理解し、チームで協力して 解決する必要性を理解してい る。	○ 医療的ケアを必要とする幼児児童生徒 が安心・安全な学校生活を送るために、 養護教諭や学校看護師と連携し、給責 における指導や医療的ケア等に取り組 んでいる。	はじめとする個別の課題への極的に取り組んでいる。	ョンを受けるなどして、問題行動を 対応や解決について、チームで積	○ 学校が直面する様々な課題を把握 その解決のために、組織的できめ組 かな指導・支援を関係機関や学校全 で1つのチームとして、取り組むように 進している。
	•	G センター的機能の推進します。	能の役割を理解している。	○ 自校におけるセンター的機能について、 校内組織や活動内容を理解し、先輩教 員とともに、地域の学校への理解・啓発 に取り組んでいる。	地域の園・小中高等学校等の 生徒に応じた適切な指導・支射 機関との連携強化に取り組ん		○ 特別支援教育における高い専門性を つ後進の育成を推進するとともに、自 のセンター的機能が有効に発揮され ために、校内の組織体制の機能強化 取り組んでいる。
	ı	H地域實献力	る、家庭や地域、企業等と連 携・協働した実践について知っ	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。		進め、地域と一体化した「キャ	○ 多様性を認め合う「ダイバーシティとま」の実現を目指した地域と一体化し取組を推進している。
			○ 幼児児童生徒の活動の姿や思 考の流れを踏まえ、ICTの活用 場面等を想定しながら、学習指 導案を作成している。	○ 幼児児童生徒の実態に応じ、育成を目 指す資質・能力の定着に向け、目標と影 価を関係付けて、ICTを積極的に取り入 れた授業を構想している。	学 を図るため、学習内容に応じた創意工夫のある授業を他のに、様々な支援機器について		専門性に加え、ICTの適切かつ効果的な実践・研究を生かした授業改善につての助言をしている。
		A ICTを学習指導I 利活用するが	○ 学習指導に必要なアプリケー	○ 育成を目指す資質・能力の定着に向け、積極的にICTを活用した指導を実践し、一人一人の障がい特性、困難さ、支援のニーズに応じた利活用を行うとともに、蓄積した教育データを学習評価につなげている。	とともに、学びの質や長期的な し、個別最適な学びと協働的な 充的・発展的な指導・支援をし	効果的に活用した授業を実践する な変容に関する教育データを分析 な学びの一体的な充実のための補 たり、幼児児童生徒の成長や発 器の調整を行ったりしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一 的な充実に向け、必要とされる教育子 タの活用とICTスキルの向上について 研究に努めるとともに、一人一人に応 た利活用について助言をしている。
		ICTを効率的な 日業務の遂行に 活用するが	○ 学校業務に必要なアプリケー ション操作や情報モラル・セキュ リティに関する知識や技能を身 に付けている。	○ 所属する組織のセキュリティポリシーを 理解し、学級事務、校務において、学校 業務支援システムやその他のクラウド サービスを利活用している。	○ セキュリティポリシーを遵守し のクラウドサービスの多くの機 行している。	、学校業務支援システムやその他 能を活用して効率的に業務を遂	○ セキュリティポリシーを遵守し、学校業 支援システムやその他のクラウドサー スの効率的な利活用について教職員 提案している。

とくしま教員育成指標

資質·能力		キャリアステーシ		〈第1ステージ〉	〈第2スラ	•	令和5年度改 (第3ステージ)
M.M.	初		養成期 ○ 教育的愛情と熱意をもって教育 活動に臨もうとしている。	基盤形成期 ○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示され 命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く		深化・発展期 使命感と教職への誇り、たくる 推進している。	熱速期 ましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を
		A 使命感・倫理制	0.40111.500000	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令やともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、§	セキュリティポリシー等を遵守すると		去令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲 の志気を高めている。
		B 業 見 学び続けるカ	○ 学び続ける意欲をもち、他者の 意見を謙虚に受け止めている。	○ 知見を広げ、物事を的確に判断するととる。	もに、主体的に研修に取り組んでい	○ 豊かな経験に裏打ちされた調研鑽に努めるとともに、範を表	
			○ コミュニケーションスキルを身に 付け、他者と積極的に関わり、	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分合っている。	分の考えを適切に伝えながら、助け	○ 組織のコミュニケーションを記 異なる教職員とのパイプ役と	5性化するとともに、管理職や学年・職種等なり、支え合う環境づくりをしている。
		C 社 会 性 コミュニケーションブ	□ 回れ合うといる。 □ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間 関係を築いている。	○ 児童生徒一人一人の抱えている悩みやにない集団をつくるとともに、教育的愛情を		○ 学校や地域の人権に関する り組み、人権尊重の精神が高	課題の解決に向けて、関係機関等とともに 高まるよう家庭や地域に広めている。
		D 学 校 組 前 マネジメントカ	○ 組織の一員として、目標と自分 の役割を理解し、協働して責任 を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いながら、日々の教育 活動に協働して取り組んでいる。	○ グループの強みと弱みを分析 したり、PDCAサイクルを活用 したりしながら、組織を活性化 させている。	○ グループリーダーとして、創 意工夫や企画力を発揮し、 他のグループとも連携・調整 をしながら、組織を活性化さ せている。	
				○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画 的に職務遂行に努めている。	○ 校務分掌等の業務を、周囲の 教職員と調整しながら遂行し ている。	○ 校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員 に助言をしている。	○ 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
		E連携・協働力	○ 家庭や地域と連携する重要性を 理解し、ボランティア活動や地域 の行事等へ参加している。		○ 地域の教育資源(人材・施設・ 伝統行事等)についての情報 を把握し、その活用を図っている。	○ 家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるための ネットワークを形成している。	○ 地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。
			○ 安全教育·防災教育·情報モラ	○ 互いの課題や悩みを解決するため情報 交換を積極的に行うとともに、先輩教員 に相談したり助言を求めたりしている。○ 安全教育・防災教育・情報モラル教育・	○ 互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。 ○ 危機管理に対する意識を高	○ 校内研修を充実させるととも に、若手教員に助言をしている。○ 緊急時のシミュレーションを	○ 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを記画的・継続的に進め、支え合い、学びう環境づくりをしている。 ○ これまでの経験を生かし、地域と協働
		F 危 機 管 理 ガ	ル教育・食物アレルギー対応等	○ 女主教育・助火教育・旧報モフル教育・ 食物アレルギー対応等に関する危機管 理の知識を身に付け、早期発見や想定 外の事態への対応に努め、緊急時に自 分の役割を果たしている。	○ 加機管理に対する息減を局め、危険を予測して行動するとともに安全・安心に配慮した環境づくりをしている。	○ 素点時のシミュレーションを 行い、対応を考え、グループ の中心となって事故等の未 然防止に向け行動している。	これまどの控釈を生かし、地域と励順 た創意工夫のある安全教育・防災教 情報モラル教育・食物アレルギー対成 等に関する取組を発信したり、危機管 体制づくりに参画したりしている。
		A保健管理	○ 学校保健安全法を理解し、児童 生徒の実態把握の方法や基本 的な保健管理の方法について 知識と基礎的な技能を身に付け ている。	○ 児童生徒の心身の実態を把握し、保健 管理及び感染症の予防と対策、学校環 境衛生活動を適切に行っている。	○ 保健情報を総合的に評価し、学 の解決に向けて校内の中心とな 置を講じている。	校全体の実態を捉え、健康課題 よって対応するとともに予防的措	○ 校内の教職員や近隣の学校の養護 論と連携し、保健管理について指導的 役割を果たすとともに、組織的に健康 題の解決を図っている。
	専門的職	B保健教1	○ 学習指導要領を踏まえ、養護教 論の専門性を生かして、保健教 育を実践しようとしている。	〇 学級担任等と連携し、ICT等を効果的に活用しながら、養護教諭の専門性を生かして、個や集団を対象に保健教育を実践している。	育を実施し、指導と評価の一体	化を図るとともに、ICT等を効果	〇 社会状況の変化と実態に応じた全体 画の立案に積極的に参画し、組織的 実践・評価を通して、改善を図ってい
	務実践力・	C健康相能	○ 学校保健安全法による健康相 談の位置付けを理解し、心身の 発達段階における健康課題に 対する基本的な支援の方法を 身に付けている。	○ 健康相談の基本的なプロセスを理解し、 児童生徒の心身の発達段階の課題や現 代的な健康課題との関連を踏まえた健 康相談を実施している。	○ 心身の健康課題を総合的に捉 るとともに、学校医等の専門職 童生徒に応じた支援方法を検診	や保護者と組織的に連携し、児	○ 個々の健康課題から全体の課題を扱 え、教職員の意識を高めるとともに、 援体制づくりに参画している。
	学習指導	D保健室経営	○ 養護教諭の職務や役割、保健 室の機能についてを理解し、保 健室経営に取り組もうとしてい る。	○ 学校教育目標を踏まえ、保健室の役割 等を理解し、保健室経営計画に沿った実 践・評価をしている。		エ夫改善を図り、校内の健康教	○ 学校教育目標を踏まえ、近隣の養護 論や関係機関等との連携を密にする ともに、地域のリーダー的役割を果た し、保健室経営を効果的に実践している。
I C T の 画	() E	E保健組織活賞	○ 保健組織活動の意義と学校保健に関する学校内外の協力体制の重要性を理解している。	○ 保健組織活動の意義を理解し、企画・運 営に参画している。	とともに、学校全体の健康課題	できるよう内容の工夫改善を図る の解決に向けて連携を推進して いて教職員や若手養護教諭に対	地域の実情に応じた保健組織活動を
の利活用	R E	A 児童生徒理解 指 導 ブ	○ 児童生徒理解の意義や、児童 生徒の心身の発達の過程・特徴 について理解している。	○ 児童生徒に向き合い、一人一人の人格 を尊重し、共感的理解に努めて信頼関 係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○ 児童生徒の発達や個性等をより 構築し、長期的な視野をもってするよう意図的・計画的に指導・支 助言をしている。	り多面的に理解して信頼関係を 社会的資質や行動力を獲得でき で援をするとともに、若手教員に	○ 児童生徒を深く理解し、細やかな配成 するとともに、全ての教職員で児童生 の理解や指導・支援の方針について 通理解を図る環境づくりをしている。
13	担任力	B集団づくりえ	基本的な指導方法を理解してい る。	○ 学級担任等と連携しながら、学級集団をはじめ、児童会・生徒会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれー貫性のある指導・支援をしている。	い集団に高め、集団相互の関オ 教員に助言をしている。	つりを活性化させるとともに、若手	入れ、活性化させるための具体的方 を提案している。
	生徒指	C課題解決力	題の発見と対応の方法について	○ 児童生徒の心身の健康課題を早期に発見し、保護者、他の教職員等と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	課題解決に向け、必要に応じて を図り、その様々な方策につい	専門家と連携しながら課題解決 て若手教員に助言をしている。	織的できめ細やかな指導・支援が行れるよう働きかけている。
	*	D 未来ピジョン育成フ	○ キャリア教育・消費者教育・主権 者教育の重要性を理解し、基本 的な指導方法を身に付けてい る。	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育 の視点を踏まえた学習の場を設定し、児 童生徒の自己有用懸を高めつつ、自立 した生活、社会の形成における自己の役 割について理解できるよう指導をし自覚 を促している。	種や家庭、地域、企業、関係機	、異年齢集団を組織したり、他校 関等との連携を図ったりしなが	○ 学校の教育活動全体を通じて、グロ ルな視野とキャリア教育・消費者教育 主権者教育の視点を踏まえた指導が 実するよう、助言をしている。
		A 個に応じた 指導・支援力	支援の必要性を理解している。	○ 児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人・保護者のニーズを踏まえ、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	理的配慮の視点から校内での3 生活全体を通じて個に応じた支	連絡・調整を行うなどして、学校 接を行っている。	○ 個々の児童生徒に対する合理的配 実施について助言したり、障がい者す の促進について、家庭や地域への発 に努めたりしている。
		B チームによる実施	○ 関係する校務分掌(特別支援教育コーディネーター等)や、関係機関(医療・福祉・労働)のそれぞれの役割を理解している。	○ 保護者や特別支援教育コーディネーター ら、指導・支援に取り組んでいる。	-、他の教職員と連携・協働しなが	○ 校内委員会等で情報共有を 行ったり、外部の専門家や 関係機関と連携したりして、 ケース会議等を実施してい る。	○ インクルーシブ教育システム構築にけ、関係機関等と連携しながら、学校体で児童生徒を支援する体制の整備推進している。
		「わかった C「できた」を育む 学習支援力	○ 学びに困難さを抱える児童生徒 への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○ 他の教職員と協働し、児童生徒の学習 上のつまずきに対する配慮や支援、教 材づくりに積極的に取り組み、意欲的・主 体的に学ぶ授業づくりを行っている。		記童生徒の得意な面を認めること	○ 児童生徒一人一人の実態に応じた目 設定、教材教具の工夫、指導方法、 賛・承認の方法等について、若手教! 助言している。
		「わかった」 「できた」を育む 生活支援力	が 解している。	○ 児童生徒が見通しをもって学校生活を送れるように、保健室環境の整備や保健室内ルールの明確化を図るとともに、コミュニケーションスキル向上等に関する指導を行っている。	を 徒の望ましい行動を育てるため 用いて、課題の解決や問題のう	に、ポジティブ行動支援の手法を 予防に取り組んでいる。	確認し、児童生徒の成長を共に喜び う機会を計画的に設定している。
		A ICTを学習指導に	○ 児童生徒の活動の姿や思考の 流れを踏まえ、ICTの活用場面 等を想定しながら、学習指導案 を作成している。	○ 児童生徒の実態に応じ、育成を目指す 資質・能力の定着に向け、目標と評価を 関係付けて、ICTを積極的に取り入れた 授業を構想している。	○ 児童生徒一人一人に応じ、育成 るため、学習内容に応じて、ICT 意工夫のある授業を実践してい	「を適切かつ効果的に活用した創	○ これまでの実践や経験をもとに、単う 題材の開発や授業構想に関する専門 を高めるとともに、ICTの効果的な 方法の研究に努め、授業改善につな る助言をしている。
		○利活用する力	○ 学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。		した授業を実践するとともに、学	びの質や長期的な変容に関す 適な学びと協働的な学びの一体	○ 個別最適な学びと協働的な学びの一 的な充実に向け、必要とされる教育: タの活用とICTスキルの向上につい 研究に努め、助言をしている。
		ICTを効率的な B業務の進行に 活用する力	リナイに対りる知識や技能を身	○ 所属する組織のセキュリティポリシーを 理解し、学校保健に関する業務、校務に おいて、学校業務支援システムやその他 のクラウドサービスを利活用している。	○ セキュリティポリシーを遵守し、 のクラウドサービスの多くの機能 行している。		〇 セキュリティポリシーを遵守し、学校 支援システムやその他のクラウドサ スの効率的な利活用について教職員 提案している。

_		_		キャリアステージ	採用時に本県が求める力	〈第1ステージ〉	〈笛2ス	テージ〉	令和5年度改訂 〈第3ステージ〉
資	實 : 前	きカ	_	TT:// \/ /	養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期
					○ 教育的愛情と熱意をもって教育 活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示され 命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く		○ 使命感と教職への誇り、たくま 進している。	しい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推
			A	使命感・倫理領	○ 社会人としての常識やマナー、 道徳性(情報モラルを含む。)を 身に付け、法令遵守の精神に	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令や とともに、誠実かつ公正に職責を遂行し.	セキュリティポリシー等を遵守する		令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の 気を高めている。
			В	腺 見 ・ 学び続けるカ	基づいた行動をしている。 ○ 学び続ける意欲をもち、他者の 意見を謙虚に受け止めている。	知見を広げ、物事を的確に判断するとといる。	もに、主体的に研修に取り組んで	○ 豊かな経験に裏打ちされた識 鑽に努めるとともに、範を示し	見を有し、課題意識と探究心をもって自己研 ている。
					○ コミュニケーションスキルを身に 付け、他者と積極的に関わり、	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自然 け合っている。	分の考えを適切に伝えながら、助		生化するとともに、管理職や学年・職種等の いく 支え合う環境づくりをしている。
			С	社会性・コミュニケーション力	助け合っている。 ○ 自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○ 児童生徒一人一人の抱えている悩みや さない集団をつくるとともに、教育的愛情 る。			題の解決に向けて、関係機関等とともに取 まるよう家庭や地域に広めている。
					○ 組織の一員として、目標と自分 の役割を理解し、協働して責任 を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・ 相談を適切に行いながら、日々の教育 活動に協働して取り組んでいる。	○ グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○ グループリーダーとして、創意 工夫や企画力を発揮し、他の グループとも連携・調整をしな がら、組織を活性化させてい	○ 学校教育目標の達成に向け、「チーム 学校」としての組織力が発揮できるよう 率先して工夫改善に努め、学校全体の 教育計画の作成に参画している。
			D	学 枝 組 郷マネジメントカ		○ 校務分掌等の業務内容を理解し、計画 的に職務遂行に努めている。	○ 校務分掌等の業務を、周囲 の教職員と調整しながら遂行 している。	る。 校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○ 組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
			E	連携・協働力	○ 家庭や地域と連携する重要性 を理解し、ボランティア活動や 地域の行事等へ参加している。	○ 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	情報を把握し、その活用を 図っている。	○ 家庭や地域に働きかけ、教育 活動を充実させるためのネット ワークを形成している。	○ 地域における学校の役割を認識し、家 庭や地域と協働する教育活動を推進し ている。
						○ 互いの課題や悩みを解決するため情報 交換を積極的に行うとともに、先輩教員 に相談したり助言を求めたりしている。	○ 互いの課題や学びの共有を 図るとともに、若手教員の範 となるよう努めている。	○ 校内研修を充実させるととも に、若手教員に助言をしてい る。	○ 人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計 画的・継続的に進め、支え合い、学び台 う環境づくりをしている。
			F	危機管理力	○ 安全教育・防災教育・情報モラ ル教育・食物アレルギー対応・ 衛生管理等をはじめ危機管理 の重要性を理解し、危険を穿知 したとき、状況に応じた行動をし ている。	○ 安全教育・防災教育・情報モラル教育・ 食物アレルギー対応・衛生管理等に関 する危機管理の知識を身に付け、早期 発見や想定外の事態への対応に努め、 緊急時に自分の役割を果たしている。	○ 危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全安心に配慮した環境づくりをしている。	○ 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。	○ これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー炭 応・衛生管理等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したり している。
			F	- 教科等における 教 育 指 導	○ 学習指導要領における食育の 位置付けと、食育全体計画作 成時の栄養教諭の役割を理解 している。	○ 学校教育目標を踏まえつつ、児童生徒の実態に応じた食育全体計画を作成し、学級担任等と連携しながら、給食時間の指導及び教科等における食に関する授業に、10で等を効果的に活用し、参画している。	計画に沿って、食に関する授	生徒の実態に合わせた食育全体 業に参画するとともに、指導と評価 建的に用いた食育実践を保護者等 成との連携を図っている。	○ 食育がより効果的に行われるよう、高い専門性を生かし、助言をしている。
					○ ICT等を効果的に活用し、食に 関する指導の学習指導案作成 や教材研究を行っている。	○ 指導を振り返ったり他の教職員の授業を自分の指導の改善に生かしたりしている。	ともに、社会状況の変化に合え り入れ、指導の改善をしている		法に、意欲的にICT等の新しい技術や 方法、評価方法を提示し、栄養教諭の 範となり、食育の取組を発信している。
		専門的職	١	個別的な相談指導	要性を理解している。	○ 個別的な相談指導の流れを理解し、学 級担任や養護教諭等と相談しながら、 適切な対応をしている。		童生徒の状況を総合的に評価し、 ながら適切な対応をしている。	○ 個別的な相談指導の実践に関し、近隣の栄養教諭や栄養教諭未配置校の教職員等に対し、経験を基に助言をしている。
		務実践	į	学校給食の	○ 学校給食法を理解し、安全安心 な学校給食管理を実践しようと している。	○ 学校給食実施基準に基づき、食品構成 や調理作業工程を考慮した献立を作成 している。	対応した献立を作成している。	『工夫のある献立や社会的課題に 。また、喫食状況の把握から適切な 『員への情報提供や助言をしてい	○ 学校給食の運営管理に関し、各校や所属する市町村において指導的役割を見たしている。
		力・学	"	学 枝 鉛 食 の 管 理	○ 学校給食に必要な調理技術を 身に付けている。	○ 学校給食衛生管理基準に基づき、関係 機関と連携しながら適切な指導・助言及 び管理を行っている。	〇 市町村内の全学校給食施設(前等と連携しながら、マニュアルを	
		晋指導	١,	会に関する指導と 学校給金の管理の 一 体 的 な 展 開	る。	○ 各教科等において、学校給食が「生きた 教材」となるような献立づくりをしている。	よって得られた知見や情報を	て活用したり、食に関する指導に 給食管理に生かしたりすることで、 するとともに、若手教員に助言をし	○ 食に関する指導と学校給食の管理の材 乗効果が得られるように、教職員及び 家庭、地域との連携を強化している。
			J	食育コーディネーターと しての連携・調整	○ 食育を推進するための、学校内 外の連携の方法や重要性を理 解している。	○ 食育コーディネーターとして、市町村学校食育推進委員会の運営に関わっている。	援をしている。	画の作成や円滑な実践のための支 、様々な体験活動を企画・調整す っている。	○ 食育コーディネーターの指導的立場と なり、関係機関と連携を図りながら、市 町村学校食育推進委員会の運営に中 心となって関わっている。
3		e K		児童生徒理解・ 指 導 力	○ 児童生徒理解の意義や、児童 生徒の心身の発達の過程・特 徴について理解している。	○ 児童生徒に向き合い、一人一人の人格 を尊重し、共感的理解に努めて信頼関 係を構築するとともに、社会的資質や行 動力を高めるよう指導・支援をしている。	築し、長期的な視野をもって社	にり多面的に理解して信頼関係を構 社会的資質や行動力を獲得できる 接をするとともに、若手教員に助	○ 児童生徒を深く理解し、細やかな配慮? するとともに、全ての教職員で児童生行 の理解や指導・支援の方針について共 通理解を図る環境づくりをしている。
,		担任力	В	集団 づくりカ		○ 学級担任等と連携しながら、集団づくりの経営方針に沿ってよりよい集団に育てるために指導・支援をしている。	○ 異年齢集団等様々な集団活動相互の関わりを活性化させ、よづくりに取り組んでいる。	めの指導に積極的に関わり、集団 専門性を生かしながらよりよい集団	○ 学校全体の集団づくりの取組を視野に 入れ、活性化させるための具体的方策 を提案している。
		・生徒指	C	課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な 課題の発見と対応の方法につ いて理解し、積極的に課題解決 に取り組もうとしている。	○ 様々な課題に気付き、児童生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。		見に努め、必要に応じて専門家と連 その様々な方策について若手教員	○ 学校が直面する様々な課題を把握し、 組織的できめ細やかな指導・支援が行 われるよう働きかけている。
		***************************************		未来ピシ゚ョン育成力	○ キャリア教育・消費者教育・主 権者教育の重要性を理解し、基 本的な指導方法を身に付けて いる。	○ キャリア教育・消費者教育・主権者教育 の視点を踏まえた学習の場を設定し、 自立した生活、社会の形成における自 己の役割について理解できるよう指導 し、自覚を促している。	○ 発達段階に応じて、グローカル 育・主権者教育の視点を踏ま 地域、企業、関係機関等とのう 動を通じて指導・支援をしてい	連携を図りながら、あらゆる教育活	○ 学校の教育活動全体を通じて、グロー カルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導 が充実するよう、助言をしている。
			A	個に応じた指導・支援力	文法の必要性を理解している。	○ 児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人・保護者のニーズを踏まえ、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	理的配慮の視点から校内での 活全体を通じて個に応じた支)連絡・調整を行うなどして、学校生 援を行っている。	理解の促進について、家庭や地域への 発信に努めたりしている。
			В	チームによる実験	○ 関係する校内分掌(特別支援 教育コーディネーター等)や、関 係機関(医療・福祉・労働)のそ れぞれの役割を理解している。	○ 保護者や特別支援教育コーディネーター ら、指導・支援に取り組んでいる。	- 、他の教職員と連携・協働しなが	○ 校内委員会等で情報共有を 行ったり、外部の専門家や関 係機関と連携したりして、ケー ス会議等を実施している。	○ インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校会体で児童生徒を支援する体制の整備を推進している。
			С	「わかった」 「できた」を育む 学習支援力	への配慮を理解し、基本的な指 道・支援の方法を理解してい	○ 他の教職員と協働し、児童生徒の学習 上のつまずきに対する配慮や支援、教 材づくりに積極的に取り組み、意欲的・ 主体的に学ぶ授業づくりを行っている。	○ アセスメントに基づき指導目標 的に授業改善を行うとともに、 により、学習意欲の向上につれ	児童生徒の得意な面を認めること	○ 児童生徒一人一人の実態に応じた目 設定、教材教具の工夫、指導方法、称 賛・承認の方法等について、若手教員 に助言をしている。
			D	「わかった」 「できた」を青む 生活支援力	理解している。	○ 児童生徒が見通しをもって学校生活を 過ごせるように、環境の整備やルール の明確化を図るともに、コミューケー ションスキル向上等に関する指導を行っ ている。	徒の望ましい行動を育てるたる 用いて、課題の解決や問題の		確認し、児童生徒の成長を共に喜び合 う機会を計画的に設定している。
			A	ICTを学習指導に利 活 用 す る カ	流れを踏まえ、ICTの活用場面 等を想定しながら、食に関する 指導の学習指導案を作成して いる。	○児童生徒の実際に応じ、育成を目指す 資質・能力の定着に向け、目標と評価を 関係付けて、ICTを積極的に取り入れた 授業や給食時間の指導を構想してい る。	るため、学習内容に応じて、IC 意工夫のある授業や給食時間		○ これまでの実践や経験をもとに、食に胃する指導における単一題材の開発や 授業構想に関する専門性を高めるとと もに、ICTの効果的な活用方法の研究 に努め、授業改善につながる助言をし ている。
					○ 学習指導に必要なアプリケー ションや情報モラル・セキュリ ティに関する知識や技能を身に 付けている。	○ 育成を目指す資質・能力の定着に向け、積極的にICTを活用した食に関する指導を実践するとともに、蓄積した教育 データを学習評価につなげている。	の指導を実践するとともに、学 教育データを分析し、個別最近 な充実のための補充的・発展		○ 個別最適な学びと協働的な学びの一体 的な充実に向け、必要とされる教育 データの活用とICTスキルの向上につ いての研究に努め、助言をしている。
			В	ICTを効率的な 業務の遂行に 活用する力	○ 栄養管理や衛生管理に必要な アプリケーション操作や情報モ ラル・セキュリティに関する知識 や技能を身に付けている。	○ 所属する組織のセキュリティボリシーを 理解し、献立作成や発注業務、諸帳簿 整備等に必要なアプリケーションや学業務支援システム、その他のクラウド サービス等を利活用している。	○ セキュリティポリシーを遵守し、 機能やその他のクラウドサー! 教諭等と情報共有をしながら、 を遂行している。	、学校業務支援システムの多くの ビス等を活用しており、近隣の栄養 、多くの機能を理解し効率的に業務	○ セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウド サービス等の効率的な利活用について 教職員に提案している。
丄				1	I		I.		<u> </u>

資質	()	職位能力	教 頭 副校長	校 長
	A	使命感·責任感	○校長を補佐する自覚をもち、校務全般を把握すると ともに、それらが円滑に機能するよう、責任感をもっ て自分の役割を果たしている。	○学校の最高責任者としての覚悟をもち、法令等に基づいて適正な学校経営を行い、よりよい児童生徒の育成に使命感をもって取り組んでいる。
素	В	倫理観	〇法令を遵守し、鋭い人権感覚のもと、誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、教職員に対してもコンプライアンスに関する的確な指導をしている。	〇鋭い人権感覚と規範意識に基づき、職務を遂行するとと もに、教育公務員としての職責や義務を教職員に示して いる。
養	С	リーダーシップ・ 決 断 カ	〇組織のリーダーとしての自覚をもち、的確で迅速な 判断と指示を行い、校務を遂行している。	〇豊かな人間性と経験に裏打ちされた高い識見に基づき、 冷静に状況を見極めて最終決断をしている。
	D	先見性·識見	〇最新の情報を収集し、学校に対する社会の要請を自 覚し、情報を基に適切な判断をしている。	〇学校を取り巻く状況を把握し、児童生徒の将来を見通し た学校経営ビジョンの形成に生かしている。
	Е	社会性 · 人間 関係構築力	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等との関係性 を高め、協働的な関係を築いている。	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等と広く関わり、信頼関係を築いている。
	A	企画経営力	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の理念を理解し、校長の指導のもと、具体目標の立案やその実現に向けた方策を提案している。 ○常に新しいものを取り入れたり創り出したりするチャレンジ精神をもち、教育を取り巻く社会の変化に対応した企画力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、学校や地域の実態を踏まえたカリキュラムマネジメントを推進するために、教職員に指導・助言し、学校全体で取り組む体制づくりをしている。 ○学校評価等の結果を分析し、PDCAサイクルに基づいて教育活動の改善を提案・実践している。	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の趣旨を生かした中・長期的な経営ビジョンを明確にし、時代の潮流を見据えて学校経営方針を策定している。 ○国の動向や県の教育施策を熟知し、新たな教育環境を生み出す企画経営力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、具体的目標や重点目標を掲げ、家庭や地域を巻き込んだカリキュラムマネジメントを確立している。 ○学校の教育活動や学校経営の課題を的確に把握するための計画的な評価改善に努め、新たな企画に生かしている。
	В	組織づくりカ	○組織の全体像を把握するとともに、学校教育目標に沿った体制整備をしている。 ○組織運営に関わる外部・内部環境を把握し、学校の強みを見出している。 ○教員評価を実施し、その結果を基に一人一人のもつ能力を積極的に引き出すとともに、教職員の自己有用感を高め、「チーム学校」を活性化している。	○学校教育目標の実現のために、多面的な視点から組織を統括している。○組織全体を俯瞰し、学校の強みを生かした組織づくりを行っている。○学校の教育活動が効率よく最大の効果があげられるように、教員評価の結果を生かし、「チーム学校」を牽引している。
学校マネジメントカ	С	危機管理力	○災害や想定外の事態の発生に備え、最新の情報を収集し、訓練を工夫・実践するとともに、危機管理マニュアルを絶えず見直し、発生時には迅速に対応している。 ○学校運営上必要な校内人事・施設・事務(財務・文書等)を管理している。 ○学校環境の安全を絶えず点検し、課題について適切に対応している。	○災害や想定外の事態の発生に備え、危機管理体制を確立し、発生時には状況を見通し、的確な指示を出している。○学校経営上必要な所属職員の管理・監督を行い、施設・事務(財務・文書等)の管理状況を掌握している。
ントカ	D	学校資源整備· 活 用 力	○教育予算を把握し、施設の適切な管理や予算運用をしている。 ○外部との様々な調整の実務担当者として、国・県の動向や地域の実態をいち早く把握し、実情に応じて学校資源を整備・活用している。	○学校資源を把握し、教育予算等を有効活用する中で、 組織の持続・成長の方策を打ち出している。 ○学校、地域の人的・物的資源を正確に把握し、地域の状 況に応じて、学校資源活用の方針を策定している。
	Е	人材育成力	 ○経験を生かし、キャリアステージに応じた教職員の育成のために、客観的データ等に基づいて的確に指導・助言している。 ○人材発掘に努め、常に意図的・計画的に中核教員を育成している。 ○校長の指示のもと、教職員の資質・能力向上のための体制づくりに積極的に関わっている。 	 ○教職員一人一人の資質・能力や実績を適切に把握し、 人材活用に生かすとともに、それぞれに応じた受講奨励をしている。 ○それぞれの職務の立場から、教員のキャリアステージに応じた力量形成ができるよう指示をしている。 ○意図的・計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた学校リーダーを育成している。
	F	連携・交渉力	○家庭、地域や関係機関等と連携し、情報を共有しながら、協働活動やコミュニティ・スクール運営に取り組んでいる。 ○家庭や地域との連携において、教職員を支援している。	○家庭、地域や関係機関等との協働活動やコミュニティ・スクールを積極的に推進し、地域に根ざした学校づくりを行っている。○教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整・折衝を行いながら学校の課題解決につなげている。
	G	職場環境づくりカ	○教職員のICT等を活用した長時間労働解消やメンタルペルスの保持増進に率先して取り組んでいる。 ○教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進するとともに、課題の解決や合意形成が協働的に行われるようにしている。	○ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、ICT等を積極的に活用した職場環境における課題の解決を図り、効率がよく働きやすい職場づくりをしている。○教職員間の関係性に配慮し、互いに信頼し、認め合う風通しのよい職場づくりを行っている。
	Н	特別支援教育 推 進 力	〇合理的配慮について理解し、インクルーシブ教育システムの充実に取り組んでいる。 〇特別支援教育の研修や校内OJTを推進し、計画的に教職員を育成している。 〇校内支援委員会を組織し、定期的に開催するなど、 校内支援体制の構築に取り組んでいる。	○特別支援教育の理念を理解し、学校教育目標や学校評価に、特別支援教育についての目標や方策を位置づけるとともに、評価・改善を行っている。 ○適切な人材配置と、計画的な人材育成を行っている。 ○リーダーシップを発揮しつつ、校内支援体制を確立させ、組織として十分機能するよう教職員を指導している。